

外務大臣として、厳しさを増す国際情勢の中、国益を守り、日本の存在感を高める積極的な外交を展開します。政府や党での幅広い経験と実績を活かし、大胆な物価高対策・日本経済の再生と地方活性化を推進します。



自民党
もてぎ
茂木としみつ

昭和三十年十月七日生（七十歳）

1 大胆な物価高対策を実行し、物価を上回る賃上げを実現します。

2 地方への積極的な投資を促し、地方から日本の成長を引き出します。

3 AI・半導体などの重点分野・成長分野への投資と、多様な人材の活躍促進を図ります。

4 国益を守り、国際社会でより存在感を高める日本ならではの外交、すなわち「力強く、視野の広い外交」を展開していきます。

生まれ育って良かった地方、住んでみたい街づくり

- 長年の懸案だった中橋の架替が、いよいよ2年後に完成予定で、待望の足利西スマートインターも2年後に完成します。
- 佐野市では国の制度を活用した新たな産業拠点を整備。日本で唯一となる国際規格のクリケット場を活用し、佐野市の魅力を国内外へ発信していきます。
- 栃木インター産業団地にデータセンターを誘致出来ました。巴波川の治水対策も着実に進めていきます。



日本のリーダーへ

自民党公認

比例代表も自民党へ

略歴

- ・1955年10月7日 栃木県足利市生まれ
- ・東京大学卒業、米国ハーバード大学大学院修了
- ・丸紅株式会社、マッキンゼー社

国会議員歴（一部抜粋）

- ・1993年 第40回衆院選に初立候補しトップ当選
- ・2003年 国務大臣（沖縄・北方、科学技術、IT担当）
- ・2009年 自民党栃木県連会長
- ・2012年 経済産業大臣
- ・2016年 自民党政務調査会長
- ・2017年 経済再生担当大臣（TPP、日米貿易交渉などを受結へ）
- ・2019年 外務大臣
- ・2021年 自民党幹事長
- ・2025年 外務大臣（2回目）